

# 発掘ニュース

第 40 号

平成 5 年 11 月 15 日

発行 財団法人いわき市教育文化事業団  
TEL 0246 (29) 0391

## 古代のようすと根岸遺跡

— 平成5年度範囲確認調査の成果から —

### 古代の行政区分

およそ1300年前、<sup>りつりょうせいじ</sup>律令政治が行われると、全国は都に近い畿内<sup>きない</sup>の国ぐにを中心に58の国々に分けられました。その国の下には郡<sup>ぐん</sup>、さらに家を50戸ずつ集めた里<sup>り</sup>が置かれました。東北の南部は陸奥国<sup>むつのおくに</sup>と出羽国<sup>でわのおくに</sup>が置かれ、中央の支配下にあります。また、都と地方をむすぶ交通路の整備もすすめられ、主要道路には駅を置き、馬が用意されました。

古代における、地域の行政・経済・軍事・文化の中心施設である「国衙<sup>こくが</sup>」や「郡衙<sup>ぐんが</sup>」を官衙<sup>かんが</sup>といいます。



平成5年度根岸遺跡範囲確認調査状況





根岸遺跡の礎石建物跡と掘立柱建物跡（倉庫群）

## 根岸遺跡

郡の中心地である郡衙（郡役所）には、役人が事務をとる郡庁、租税（税は稲で納めた）を収納する正倉と呼ばれる高床式の倉庫群、宴会の食膳準備や食料の管理をする厨家などがあります。

根岸遺跡（磐城郡衙跡推定地）は平成2年度より、遺跡保存を目的として範囲確認調査が行われています。今まで、柱の礎石を持つ建物跡が6棟と地面に穴を掘って柱を建てた掘立柱の建物跡が20数棟確認されています。ふつう礎石建物跡の基礎工事は、建物の大きさに地面を掘りくぼめて砂と粘土を交互に突き固める、版築という方法が取られています。根岸遺跡の場合は、柱の部分だけを2m近くも深く掘り込む、坪地業という全国でもほとんど例の見られない独特の方法で基礎工事が行われた建物跡もあります。これらの建物跡から、根岸遺跡は磐城郡衙の正倉であることが判明しました。

## 官衙遺跡の調査

泉崎村の関和久遺跡・上町遺跡は発掘調査によって、白河郡衙跡であること





根岸遺跡の南北に細長い掘立柱建物跡(柱穴を調査している様子)

が明らかになりました。阿武隈川から人工の運河を作って、税としての米を運搬して米倉(正倉)に納めたこともわかりました。二本松市の安達郡衙跡である郡山台遺跡では焼けた米が10トンも発見されています。根岸遺跡の正倉にも、夏井川をいかだで下ってたくさんの租税(稲)が運ばれたことでしょう。

### 貴族と庶民の暮らし

大化改新(645年)後、皇族および豪族等の貴族は、朝廷から土地・人民を預けられ、その租税などによって華やかな都の生活にひたっていました。しかし、このかけには、これを支える地方農民の非常に苦しい生活がありました。当時の農民は竪穴住居とよばれる粗末な家に住んで、貧しい生活をしていました。

### 根岸遺跡の周辺

荒田目条里・砂畑遺跡では、掘立柱建物跡が110棟も発見され、円面硯(丸いすずり)・漆紙文書・郡符木簡・絵馬なども出土しています。また、小茶円遺跡からは、緑釉・灰釉陶器・墨書土器・木簡などがたくさん発見されており、根岸遺跡の周辺一帯は郡衙に関連する地域であったと考えられます。

## 文化財友の会便り

### ❖今年度実施事業から

10月下旬「やさしい文化財講座」が2日にわたり実施されました。講話と体験学習を組み合わせる方法で、平日にもかかわらず定員を越える参加者があり、特に拓本のとり方の実習や、縄文土器に見える文様と同じ文様を再現する体験学習は、参加者自身が体験するだけに、真剣にかつ楽しみながら受講していたようでした。

11月7日には、千葉・国立歴史民俗博物館の「装飾古墳の世界」展を見学してきました。募集人員を大幅に上回り、バス2台を連ねての見学会となりました。展覧会には、いわき市の中田横穴（国指定史跡）の遺物も展示されており、参加者一同ひとしお感慨深いものがあり好評でした。

### 各地の展覧会等のお知らせ

❧「甦る光彩—関東の出土金銅仏」 埼玉県立博物館 ～11月28日まで

❧「古墳と人々のくらし」 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館  
～11月30日まで

❧「東北からの弥生文化」 福島県立博物館 ～12月5日まで

❧「大堀相馬焼の歴史と美」 双葉町立歴史民俗資料館～6年1月14日

❧「多賀城」 多賀城市埋蔵文化財センター ～6年3月6日まで

❧「職人のわざ」 東北歴史資料館 ～6年4月17日まで

★場所等の問い合わせは友の会事務局（事業団本部）へ☎29-0391

### 根岸遺跡現地説明会

★と き 平成5年11月20日（土） 10時から

★ところ 根岸遺跡発掘調査現場（いわき市平下大越字根岸地内）